

TRIM
REPORT

株主通信

第42期 第2四半期決算報告

2023年4月1日～2023年9月30日

株主の皆様へ

第2四半期で売上高100億突破 過去最高を更新

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は10,452百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は1,686百万円(同38.1%増)、経常利益は1,764百万円(同36.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,193百万円(同40.8%増)となりました。売上高、営業利益、経常利益につきましては、四半期連結会計期間としては過去最高を更新いたしました。

整水器販売事業においては職域販売部門はコロナ禍の収束により営業活動が正常化し、上半期のセミナー開催数

がコロナ禍前の水準に回復したことに加え、昨年からの取り組んできた営業力強化の効果が表れてまいりました。その他受付・紹介販売部門、店頭催事販売部門においても展示会等の来場者数がコロナ禍前の水準に戻り、前年同期を上回る実績となりました。引き続き営業力強化・人員増員に積極的に取り組んでまいります。

インドネシアのボトルウォーター事業は新規販売店の獲得及び収益性向上を目的とした卸ルートの見直し、さらに初のテレビCMの効果もあり、出荷数が伸長し、ペットボトル、ガロンボトルともに月間売上高過去最高を記録いたしました。

再生医療関連を手掛けるステムセル研究所(東証グロース、証券コード:7096)はコロナ禍中に制限されていた医療機関(産科施設)におけるスピーチやPR等のリアルマーケティングが大きく回復し、オンライン広告、SNS等のデジタルマーケティングと相乗効果を発揮し第1四半期に続き、第2四半期も四半期売上高の過去最高を更新いたしました。

当社グループは、「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて人々のWell-beingに貢献することが我々の使命です。「社会はいつでも我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

株主の皆様には、今後とも相変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



株式会社日本トリム 代表取締役会長兼CEO

森澤 紳勝



ウォーターヘルスケア事業

WATER HEALTH CARE

整水器販売事業

職域

- コロナ禍の収束により営業活動が正常化し、上半期のセミナー開催数がコロナ禍前の水準に回復
- 昨年から取り組んでおります営業力強化の効果もあり、6月には月間最高受注台数(5,064台)を更新。6月以降も各月前年を上回る受注で推移
- セミナー数増加の取り組み(顧問契約など人脈を通じた取り組み)
- これまでなかった新規チャネルへの開拓強化(スポーツ関係・美容関係など)
- 営業人員採用・育成強化

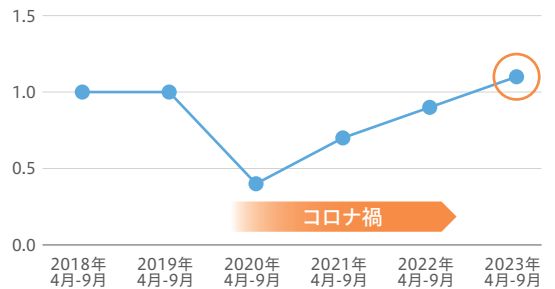
卸・OEM

- 卸・OEM部門専売機種「s.u.i(スイ)」発売(2023年9月)
- 2024年3月までに新規大口OEM先2社を稼働
- 新規海外取引案件(インド、タイ、フィリピン、ミャンマーなど)

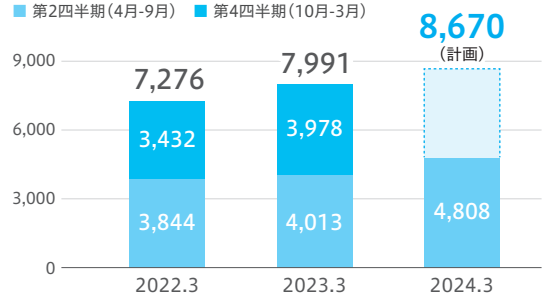
カートリッジ

- 上半期売上高 前年同期比9.2%増
- 高いリピート率(全機種平均75%以上、主力機種90%以上)
- リピート促進のアプローチ施策

2018年を「1.0」とした場合のセミナー開催数の推移



整水器売上の推移



インドネシア:ボトルドウォーター事業

ペットボトル販売の卸ルート変更

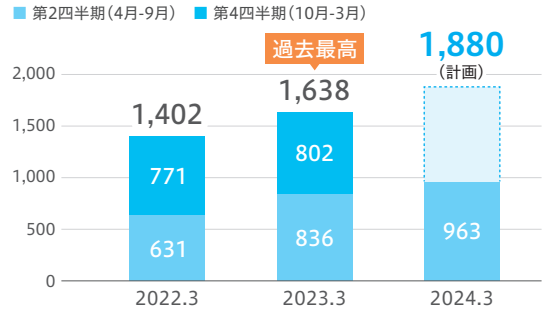
従来の食品全般を取り扱う代理店から飲料専門の代理店へ変更し、これまで取引のない販売店や展開地域を拡大

将来を見据えたマーケティングの先行投資

初となるテレビCMを実施(2月、3月、7月、8月)により販売増加



インドネシア売上の推移

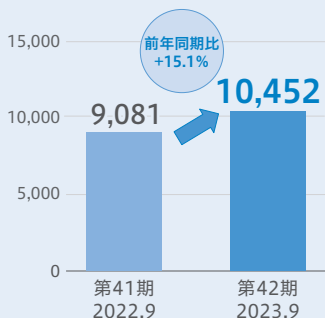


財務ハイライト:前期比較

売上高、営業利益、経常利益につきましては、四半期連結会計期間としては過去最高を更新いたしました。

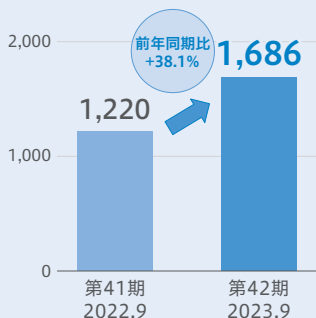
売上高

(単位:百万円)



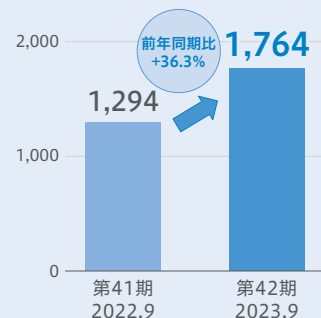
営業利益

(単位:百万円)



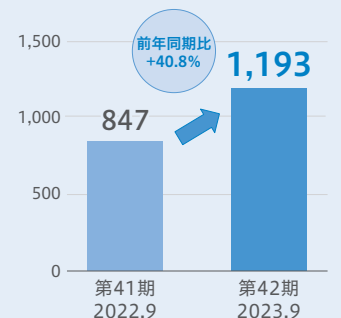
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する純利益

(単位:百万円)





医療関連事業

MEDICAL-RELATED

電解水透析事業

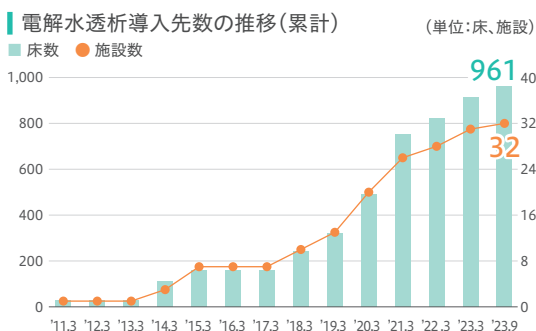
本年6月の「第68回日本透析医学会学術集会・総会」(会場:神戸国際会議場)にて導入に前向きな関心をいただいた施設(71施設)との商談を進めております。

また、日本腎臓学会や日本腎臓リハビリテーション学会、各地の臨床工学士会でのセミナー展開など、活動域拡大に取り組むとともに代理店との連携を強化して新規案件開拓に注力しております。一方で透析患者の方々への認知向上を目的とした広報展開も進めてまいります。

電解水透析は、透析患者のWell-beingに大きく寄与できる革新的な技術であり、引き続きエビデンス強化と透析装置の改良に取り組み、次世代のグローバルスタンダード治療としての普及拡大を目指してまいります。



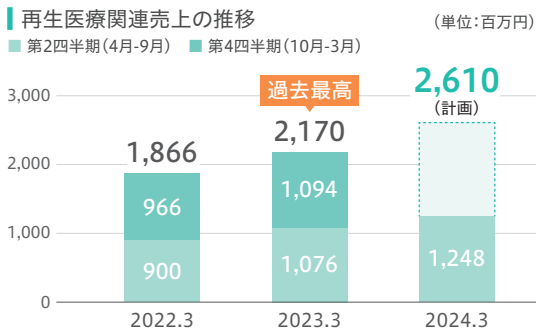
第68回日本透析医学会学術集会・総会ランチョンセミナー



再生医療関連事業

STEMセル研究所(東証グロース 証券コード:7096)

- コロナ禍に制限されていた医療機関(産科施設)におけるリアルマーケティング(母科学級など)の復調。デジタルマーケティングとの相乗効果もあり、過去最高の保管検体数を計上
- 2021年4月から開始している日本初の「さい帯保管サービス」も順調に進捗
- M&Aを含めた新規案件開発に注力



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	第41期第2四半期 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	第42期第2四半期 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
売上高	9,081	10,452
営業利益	1,220	1,686
経常利益	1,294	1,764
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	847	1,193

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

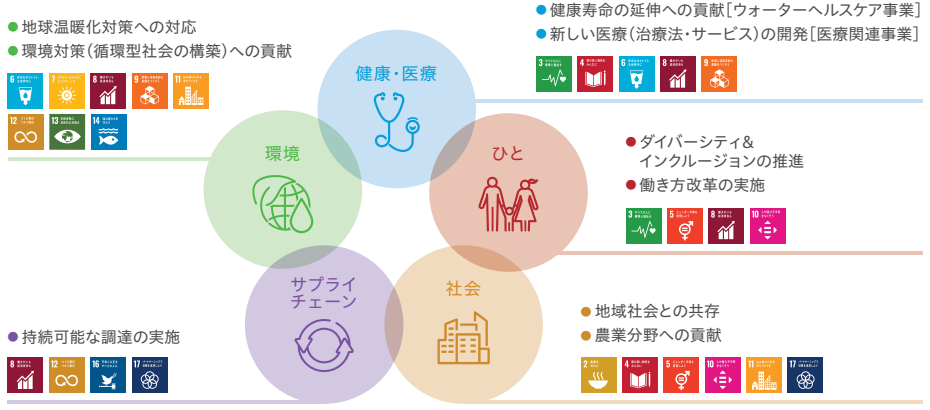
	第41期 (2023年3月31日)	第42期第2四半期 (2023年9月30日)
資産の部	流動資産	21,769
	固定資産	8,284
	資産合計	30,053
負債の部	流動負債	6,308
	固定負債	1,201
	負債合計	7,510
純資産の部	純資産	22,543
	負債・純資産合計	30,053
自己資本比率(%)	72.4	71.0

日本トリムグループのサステナビリティ

企業理念

快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する

日本トリムグループは、事業を通じた社会課題の解決による持続的な社会発展への貢献、また、中長期的な企業価値向上を実現するため、企業理念、経営方針、ステークホルダーから見た重要度を認識したうえで、当社グループで共通に取り組むマテリアリティ(重要課題)を特定しております。



資本政策の基本方針

01
資本効率性の向上
目標指標: ROE 10%以上

02
株主還元強化
基準: DOE 3%

03
財務健全性の維持

※ ROE(自己資本利益率) ※ DOE(株主資本配当率) = ROE × 配当性向

会社情報

会社概要 (2023年9月30日現在)

社名	株式会社日本トリム
英文社名	NIHON TRIM CO.,LTD.
本社所在地	大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー22階
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	667名(連結) 331名(単体)
主な事業内容	電解水素水整水器及びカートリッジ等の製品開発・販売
主な取引銀行	三井住友銀行十三支店 三井住友信託銀行大阪中央支店 三菱UFJ銀行梅田支店

株主メモ

証券コード	6788
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株主数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.nihon-trim.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合の公告方法は日本経済新聞 に掲載する方法といたします。

株主優待制度のご案内

対象株主	毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様
株主優待制度の内容	当社が販売する電解水素水整水器1台もしくは浄水カートリッジ1本の標準価格から30%割引が適用されます。



株式の状況 (2023年9月30日現在)

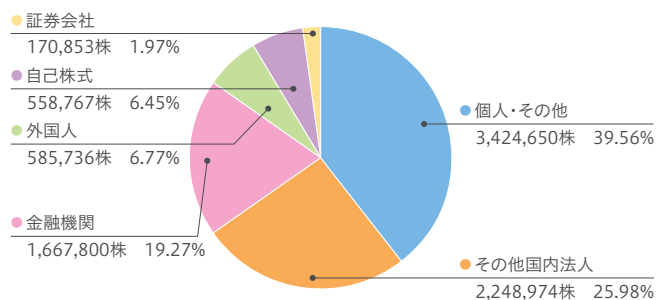
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	8,656,780株
株主数	7,254名

大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
森澤紳勝	3,350,580株	41.3%
日本マスタートラスト信託(信託口)	679,800株	8.3%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	462,200株	5.7%
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	432,900株	5.3%
日本トリム従業員持株会	115,938株	1.4%
JPモルガン証券株式会社	99,296株	1.2%
三谷禎秀	70,000株	0.8%
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	58,568株	0.7%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	45,994株	0.5%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	45,619株	0.5%

※持株比率は自己株式(558,767株)を控除して計算しています。
なお、当該自己株式数には、「株式給付信託(J-E SOP)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式432,900株を含んでおりません。
※上記の大株主に記載の森澤紳勝氏の持株数は、本人及び親族が株式を保有する資産管理会社の株式会社ラボレムスが保有する株式数2,120,300株(26.1%)を含めた実質持株数を記載しております。

所有者別株式数分布状況 (2023年9月30日現在)



当社ホームページのご案内

<https://www.nihon-trim.co.jp/>

当社ホームページでは「企業情報」「製品情報」に加え、「IR情報」で決算資料等を随時掲載しております。

